

# 2020年度 例会・講演会活動報告

2020年7月

---

日本技術士会中国本部建設部会



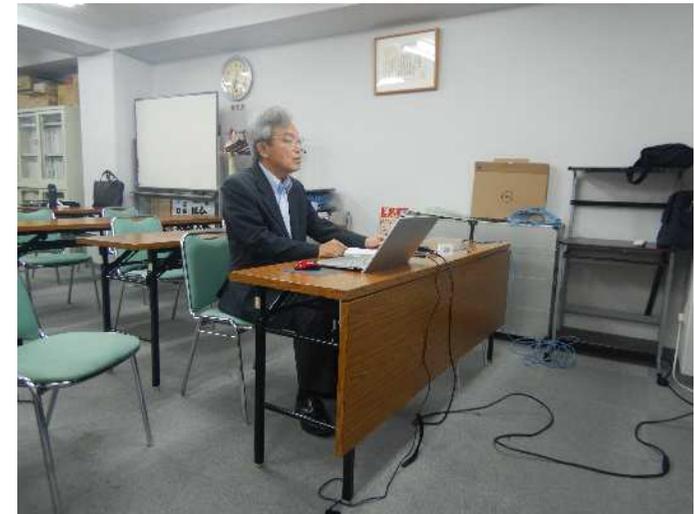
日時 2020年 7月15日(水)  
18:30~20:00

方法 オンライン方式

参加者 例会 : 40名  
(会場 : 17名、PC : 23名)  
講演会 : 108名  
(会場 : 27名、PC : 81名)

## 【第1部】 例会

- ・ 2019年度事業報告
- ・ 2020年度事業計画 を報告



森山部会長 開会挨拶



中国本部 会場

# 例会 参加者の状況

○参加者 40名

- ・ 2019 (28名) より12名増

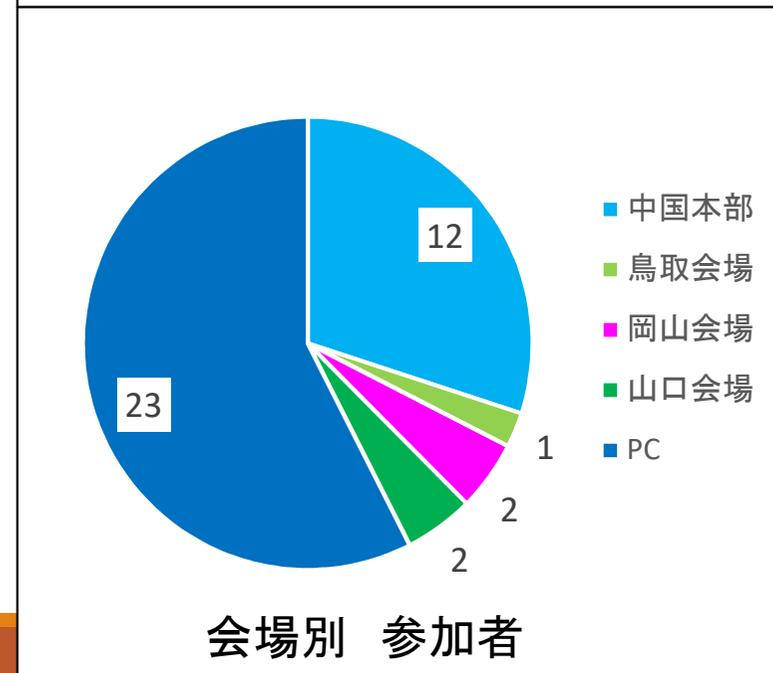
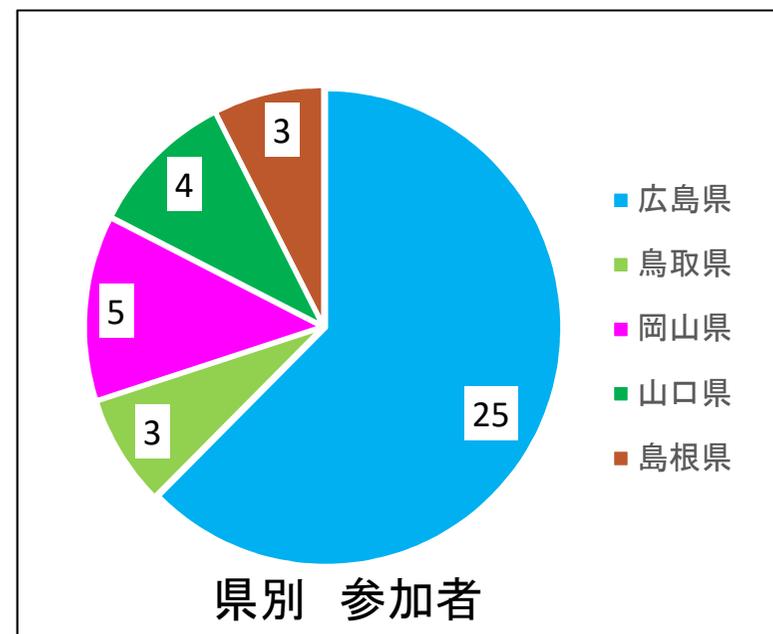
○県別参加者

- ・ 広島県 25名 (63%)
- ・ 島根県 3名 (8%) 他

広島県以外の参加者比率増

○会場別

- ・ 会場17名
- ・ PC 23名 (58%) 参加が最多



## 【第2部】 講演会

**演 題** 新たなモビリティサービスの  
普及に向けた取り組み  
～条件不利状態のモビリティサービス～

**講 師** 神田 佑亮 氏  
(呉工業高等専門学校 環境都市工学科教授)



神田教授 講演状況

### 要 旨

‘先進過疎地’である庄原市〔人口減少（▼10%/5年間）、公共サービス衰退〕は、2019年度に2つの「MaaS(マ-ス)プロジェクト」に挑戦した。

多くの課題（受益者の大半がガラケー主体の高齢者、乗換情報等が未整備等）に対応し、都市型サービスの延長ではなく庄原市の地域環境に適合したサービスを試行した。

その結果、乗降人数や外出促進等の面で効果を確認し、今後に向け将来への可能性を得た。

# 講演会参加者の状況

○参加者 108名

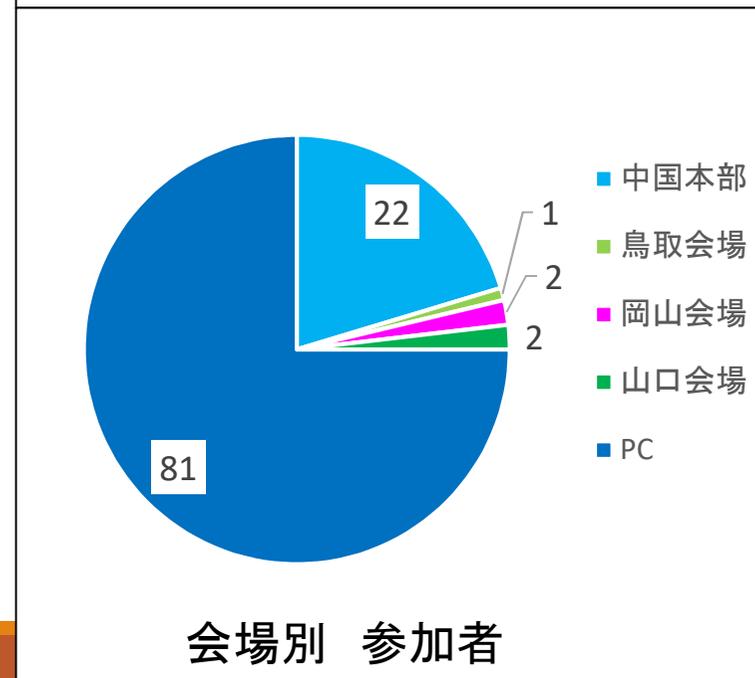
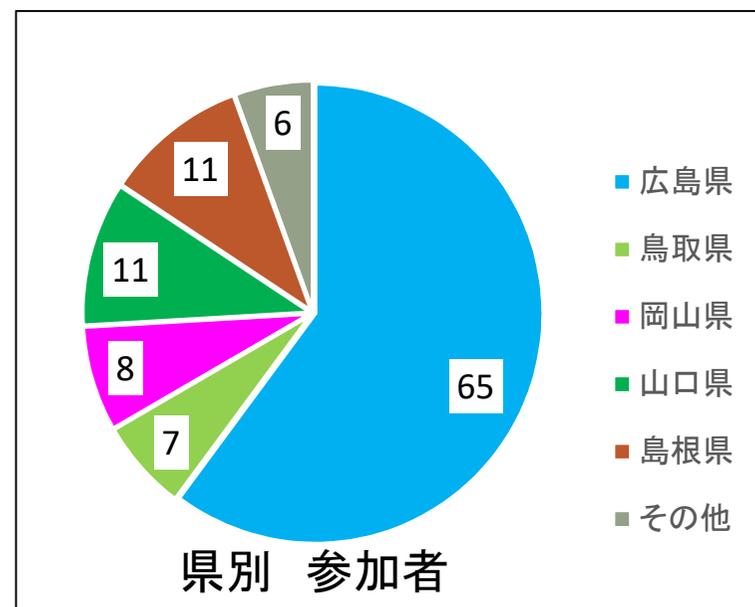
- ・ 2019（68名）より40名増加  
オンライン方式が貢献

○県別参加者

- ・ 広島県 : 65名
- ・ 中国地方（広島以外） : 37名
- ・ 中国地方以外 : 6名

○会場別

- ・ 会場 27名（4か所計、25%）
- ・ PC 81名（75%）



# 講演会アンケート回答者

## ○アンケート回答者数（回答率）

- ・回答者70名（回答率75%、全108名）  
（Web方式導入が貢献）

## ○県別

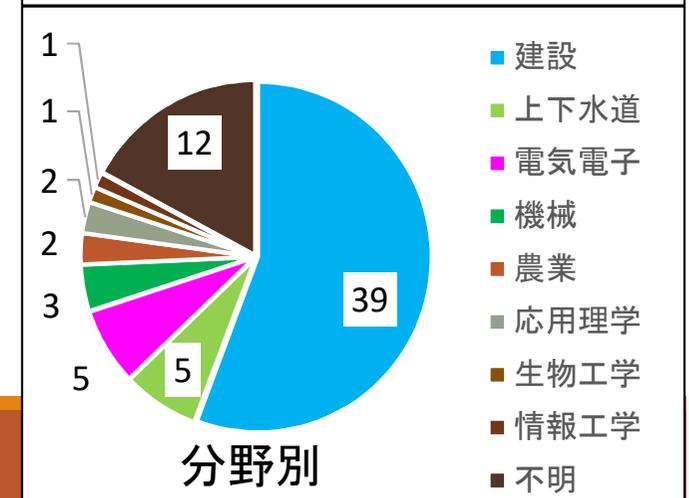
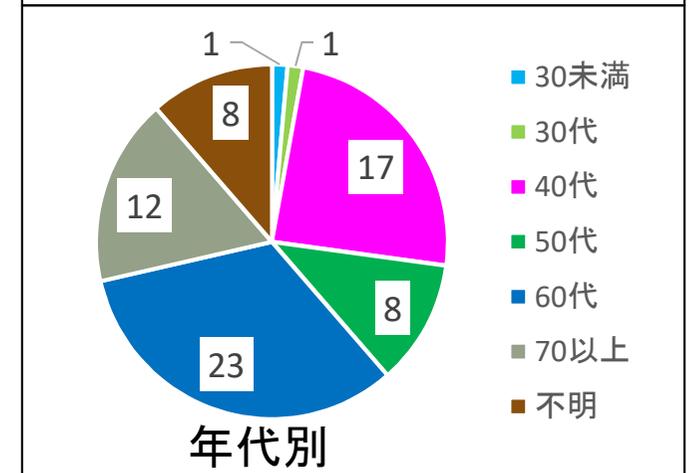
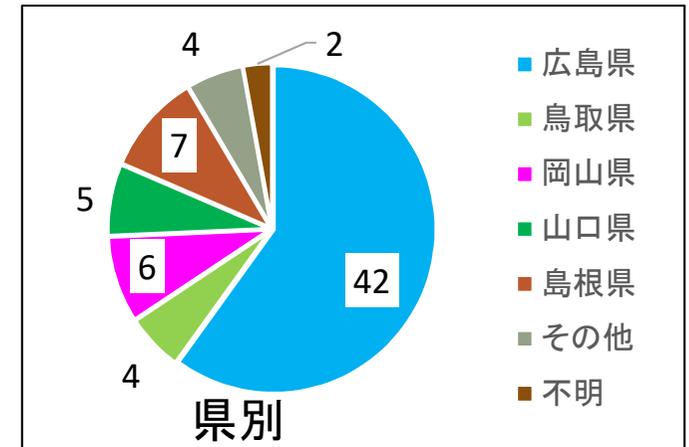
- ・全地域から回答あり

## ○年代別

- ・幅広い年齢層から回答あり
- ・多回答年齢層：40代から70以上

## ○分野別

- ・建設（55%）以外の分野も広く聴講



# 講演会アンケート結果

## ○アンケート

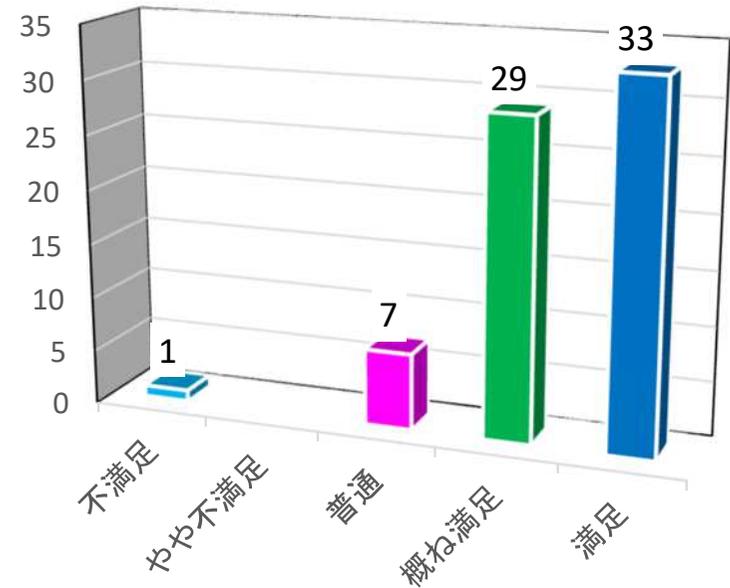
- ・回答者70名（75%、全108名）

## ○講演内容の評価

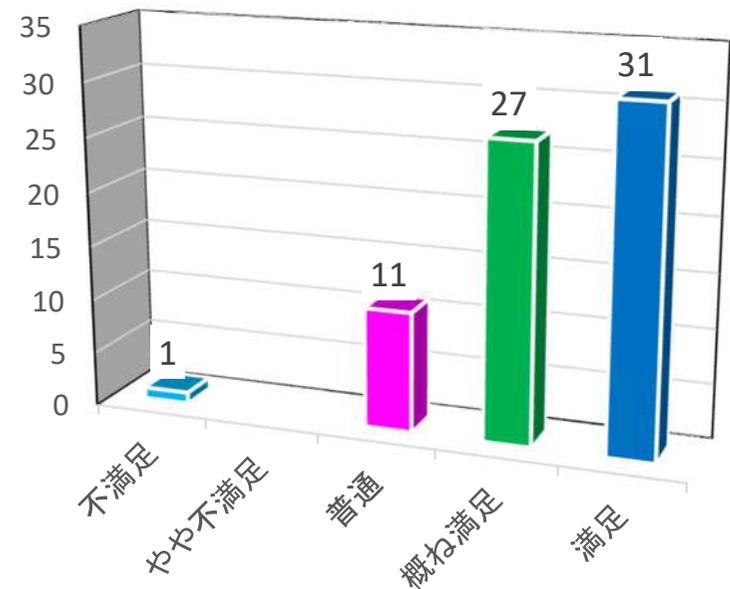
- ・不満足1名（接続不可）を除き高評価

## ○オンライン講演方式の評価

- ・不満足1名（接続不可）を除き高評価



講演内容 評価



オンライン講演方式 評価

## 講演内容への気づき（回答者：34名）

項目	内容
興味深い内容 (28名)	<ul style="list-style-type: none"><li>・MaaSに関する知識がなかったが、過疎地(庄原市)を例にした講演内容について理解が深まると共に実現に向けて何らかの力になりたい。</li><li>・MaaSの仕組みを開発する事業者にとって、干におよぶ過疎地がビジネス対象になり得る点が印象的で、実現可能性を感じた。</li><li>・過疎地の移動の課題は根が深いですが、解決の方向性が提示されているとともに、ビジネス面での成立可能性など視野の広い考察が勉強になった。</li></ul> 他
講演内容への 意見(2名)	<ul style="list-style-type: none"><li>・自動運転に必要な道路等のインフラ整備、他の公共サービス(水道や電力と、交通の融合)の話も聞きたかった。</li><li>・見込んでいる着地点と実現可能性がよくわからなかった。</li></ul>
資料配布希望 (2名)	<ul style="list-style-type: none"><li>・講演資料の事前配布を希望。</li><li>・期間限定でも良いので配布資料を見たい。</li></ul>
講演時間(1名)	<ul style="list-style-type: none"><li>・講演時間が短い。</li></ul>
視聴者のルール 徹底(1名)	<ul style="list-style-type: none"><li>・Web視聴者の視聴ルールの徹底が望まれる。</li></ul>

## Web講演への気づき（回答者：26名）

項目	内容
概ね満足(6名)	・コロナ対策や時間効率の面からも自宅で聴講できるのは有難い。他
参加者操作不慣れ(6名)	・操作に不慣れな参加者がおられたのが、残念でした。他
資料事前配布(2名)	・オンライン視聴者に向け、事前の資料配付が望まれる。他
CPD参加票(1名)	・自宅聴講時も、CPD参加票のメール配布を希望。
参加案内記載内容(1名)	・会場受講のメリット(CPD参加票、講演資料の配布)を案内に記載してもらいたい。
音声不良(5名)	・音飛びが多く、想像しながら聞いた部分がある。 ・時々音声が悪くなった(回線の状態かも)。他
画像表示(3名)	・掲示資料が小さくて見えづらい。拡大方法を教えてください。他
接続テスト(1名)	・開始1時間前とかに初心者向けの接続確認の時間を設けて操作アドバイスの場としてはどうか。
接続不可(1名)	・18時30分頃、[会議に参加する]としたが、「接続中」のメッセージが出たまま、会議に参加出来なかった。

## 建設部会への要望（回答者：17名）

項目	内容
見学会に期待 (5名)	<ul style="list-style-type: none"><li>・広島はつかいち大橋の見学が延期になり残念。 コロナ終息後、道路、河川、港湾、砂防等の現地見学 を期待。</li><li>・現状では開催困難と考えられるので、動画等による配信型の現場見学(録画可)があっても良いのではないかと他</li></ul>
講演会増 (4名)	<ul style="list-style-type: none"><li>・CPDの喪失(民間団体の講習会中止が多い)機会が多く、年度内の50ポイントが懸念される状況にある。</li><li>・コロナの影響終息後もWEB中継の講演受講機会の確保を希望。</li><li>・統括本部のWeb講演会をもっと増やしてほしい。 他</li></ul>
防災 (3名)	<ul style="list-style-type: none"><li>・防災やサービスの効率的な提供のための都市移住など先進事例があれば紹介してほしい(国交省政策、コンサルの視点)。</li><li>・2020豪雨の概要と災害の要因等。 他</li></ul>
建設投資 (2名)	<ul style="list-style-type: none"><li>・災害多発等を踏まえ、道路や鉄道インフラの強靱化に向け、財源を含めたスキームについての議論が聞きたい。 他</li></ul>
その他(3名)	<ul style="list-style-type: none"><li>・三次元設計。</li><li>・MaaSやスマートシティを希望。</li><li>・東京大学の交通渋滞の研究者からの講演を希望。</li></ul>

## 建設部会への要望（自由記入：16名）

項目	内容
お礼 (12名)	<ul style="list-style-type: none"><li>・地方在住にとって、オンライン講演は受講機会ができてありがたい。</li><li>・横浜から参加。質の高い講演を聴講出来て良かった。</li><li>・高齢者にはオンライン講演は移動がなく、大変ありがたい。 他</li></ul>
要望(CPD付与) (1名)	<ul style="list-style-type: none"><li>・集合方式の講演会その他、多くの会員が参加できるWeb講演会は、新たな会員獲得にも有効ではないか。</li></ul> CPDポイントの付与を含めて、発展的展開を期待します。 他
要望(Teams操作方法周知) (1名)	<ul style="list-style-type: none"><li>・Teams の操作方法について講演毎に示唆し、講演の視聴に支障がないようにしてほしい。</li></ul>
要望(資料配布) (1名)	<ul style="list-style-type: none"><li>・講演資料の配布を希望。</li></ul>
質問(MaaS) (1名)	<ul style="list-style-type: none"><li>・MaaSの災害での活用、水害を想定し舟(例えば屋形船)等の利用を想定されているか？</li></ul>

## 意見要望を踏まえた今後の対応

### ○CPD機会の創出

- ・ 講演会（オンラインないしWeb）の継続開催

### ○講演会開催時の対応

- ・ 視聴ルール : 徹底に向け、事前操作テスト等を継続実施
- ・ 講演会資料 : 公開（事前ないし事後）
- ・ CPD付与 : 参加票の送信は困難（中国本部方針）。  
自己学習(eラーニング)による登録を継続

以 上